

## 根に関する総説の掲載開始にあたって

「根の研究」第1巻第1号巻頭の“「根研究会」の発足にあたって”においてお知らせ致しましたように、将来計画の一つとして、研究会として根に関する本を出版することを考えております。その際には、多くの会員に参加して頂くつもりであります。最近よく見掛けますような、全体としてのストーリー性、あるいは統一性に欠け、それぞれの著者が独自の視点から書いたものを単に寄せ集めたものになってしまうことは、是非避けたいと思います。反対に、本を作る過程を通して議論を行ない、それぞれの研究者の考え方を理解すると同時に、また自分の認識を深めていくことを目指したいと思います。

根に関する本を出版するための足掛かりとするため、今回から根に関する総説の掲載を開始することにいたしました。現在、次のような項目を考えておりますが、これは作物を取扱っている研究者の考え方であり、発想に限界があるに違いありません。一応ご参考にして頂いたうえで、興味を持つ分野の総説を是非、どしどしご投稿下さいませようお願い申し上げます。編集委員の間でも、必ずしも確定したイメージが出来上がっているわけではありませんので、ご意見も合わせてお聞かせ頂ければ幸いです。

項目案：根系の構造・根の種類・根の組織構造、1次根の発育（胚発生と種子根の形成、根の一生、組織形成、数・直径・伸長速度と長さ）、分枝根の形成（始源体形成、形成の規則性、分枝程度の定量的把握）、根毛の形態と機能、根系の分布（根系の大きさと分布、根の伸長方向、根系モデル）、根の屈性（重力屈性、その他）、根の機能（呼吸、水分吸収、養分吸収、植物体の支持）、根と環境ストレス（土壌、水分、温度、ガス、養分、重金属）、根圏（窒素固定、菌根）、遺伝的側面（根の起源と進化、遷移、種間差、品種間差、形質の遺伝）、根系と茎葉部との関係（生育の対応関係、S/R比、根系と収量）

編集委員会を代表して  
森田茂紀

---

### カレンダー

## < 1 9 9 2 年 >

- 6月12日 つくば作物根セミナー：16時-17時、農業環境研究所北棟1F139室、Dr.グロッセ(ケルン大学植物学研究所教授)「湿地植物の水分ストレスへの適応」
- 7月8日-7月10日 \*植物栄養学における根に関する会議 Roots of Plant Nutrition Conference, Chancellor Hotel, Champaign, Illinois, USA
- 7月14日-7月22日 \*第1回国際作物学会議 First International Crop Science Congress, Iowa State University, Ames, Iowa, USA
- 7月30日 つくば作物根セミナー：17時15分-19時、農業研究センターA地区3F輪講室、堀 兼明(農業研究センター)「英国研究滞在記」